

緑地新聞

②

2018年11月発行

松木日向緑地 プログラムとは

首都大学東京の奥地に存在する松木日向緑地で毎年、九月から、月に一度程度、学生主体で竹林整備の活動を行っています。また、伐採した竹を利活用して、地域の交流等へと役立てています。プログラムの中には、ボランティアの意義・社会の課題や背景を学ぶ事前学習・活動

を多角的に振り返る事後学習があり、通常活動である、竹林整備と連動した内容・構成になっています。

▼竹を伐採



～緑から縁を～



▲地域交流

▼事前学習



▲事後学習

サル山水合戦開催

松木日向緑地の竹で水鉄砲づくり&水合戦
3小学校から小学生・保護者約60名参加

「サル山水合戦」は竹の利活用と地域交流の充実を目的に本プログラムメンバーで企画し、九月八日(土)に開催しました。内容は地域の小学生を対象とした、竹製水鉄砲の制作体験とその水鉄砲を用いた陣地取りゲームです。ゲームには小学生に交じって大学生も参加。自然の中での「遊び」を体験してもらおうと同時に、世代を超えた楽しい交流を実現できました。

サル山水合戦を終えて

企画者代表より

準備日には、水鉄砲に使う材料の竹を取ってきたり、小学生でも水鉄砲が作れるように加工を行ったりしました。今年から本活動に参加したメンバーの中には、今回が竹とのファーストコンタクトだったという人もいました。難なく竹を伐採することができました。加工の際、自然の竹なので、中には歪んでいるものがあったり、大きさがバラバラでうまく組み合わせられなかったりと、一筋縄ではいきませんでした。しかし、連携団体のひなた緑地遊学会の方やプログラムメンバーと協力して、一日中作業をしてなんとか準備を終えることができました。当日は、三つの小学校から約



▲難なく竹を伐採



▲みんなで協力して準備

六十名の小学生・保護者の方に来ていただきました。企画した私たちも自分たちの手で水鉄砲を作るのは新鮮な体験で、それから発射される美しい水の放物線は私たちが感動させました。また、里山保全のために伐採した竹がこのような形で利活用され、子どもたちと一緒に楽しむことが出来たのはとても有意義であったと感じました。子どもたちのためにも思いついた今回の企画ですが、実は我々大学生や大人たちにも気づきを与えてくれた、ハッピーな活動でした。これからも活動に関わる全員が楽しいと思えるような活動ができるよう頑張りたいと思います。



▲試合前の円陣



▲大学生も保護者も本気です

編集後記 (理工学系・四年)

リアル陣取りゲーム、かなり盛り上がりましたね。参加してくれた小学生や我々大学生に負けず、真剣にゲームに参加していただいた保護者の方々、とても印象的でした。多世代と一緒に、なつて盛り上がりながら遊ぶ、そんな素敵な時間を過ごせました。

編集・発行

首都大学東京ボランティアセンター (南大沢キャンパス 一号館一階)

電話 042-677-1354

メール tmv-volunteer@jim.tmu.ac.jp

文章担当

地域ボランティアプログラム①「松木日向緑地プログラム」メンバー